



むなかた市議会だより

平成30年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

平成29年度決算を認定

普通会計

歳入 3881億0587万円
歳出 3669億0535万円

平成29年度決算審査の内容

29年度の事業実績として、次のような報告がありました。

- 世界遺産登録関連事業
- 全国豊かな海づくり大会関連事業
- 7人制ロシアラグビー女子代表・ブルガリア柔道代表と、東京オリピック事前キャンプの受け入れ協定を締結
- 169橋の橋梁点検実施により、市内全橋梁の点検が終了
- 東郷駅前と周辺道路の整備を進め、日の里口駅前広場の工事が完了
- 子ども相談支援センター開設準備を行った

また、宗像市議会定例会の決算審査時に統一基準財務書類報告書が示されたのは今回が初めてです。(詳しくは4ページへ)
(※)29年度決算の詳細は、本号(11月1日号)のむなかたタウンプレス2～3ページ参照



宗像国際環境100人会議
～竹でつくった小魚の住処“竹漁礁”～

平成30年第3回宗像市議会定例会が、9月3日から9月26日までの期間で開催され、市長提案の議案17件、意見書4件、発議1件について審議を行いました。
本定例会では、みなさんが納めた税金などがどのように使われたのか、9つの会計の平成29年度決算審査を2つの特別委員会で行い、全ての決算を認定しました。

委員の意見・要望

決算報告および審査の後、特別委員会の委員から、次のような意見・要望が出ました。

◆賛成意見

▽税収の減少、社会保障費の増加が続く中、スクラップ・アンド・ビルドの視点で事業全般を見直し、将来に負担を残さない財政運営を行うべき。

▽宗像国際環境100人会議は産学官民による宗像独自の取り組みである。世界遺産のあるまちとしての発信力を生かし、さらなる飛躍を期待する。

▽厳しい財政状況での効果的な事業運営を評価する。プレミアム付き商品券発行事業は、地元企業発展のため一層の支援を期待する。

▽子ども相談支援センター開設は、子育てに優しいまちとしてイメージアップにつながることを考える。また、義務教育学校の開設は、教育課程の一括管理、地域特性を生かした学校運営の効果を期待する。

▽ことし7月の豪雨災害を受けて、行政の担う領域が防災減災であると強く認識した。防災組織の機能強化と実際に動ける計画の作成が必要である。

▽コミュニティ施策では市民に負担をかけすぎないあり方について、真剣な検討、かわりが必要と考えた。

◆反対意見

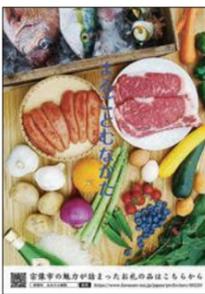
▽世界遺産登録に向け、十分な検証がないまま、さまざまな予算を計上、執行してきた。特に観光客誘致などに対する予算は安易に執行されている。一方で、生活困窮者に対するきめ細かな相談活動や、障害者支援に対する担当課の努力は認められるが、全体的な予算執行の姿勢として改善すべき点が多い。

歳入

ふるさと寄附事業

29年度当初は寄附金額10億円をめざし、返礼品数の拡充や定便の創設、寄附サイトへの掲載を増やしたことなどにより、件数では前年と比べて約2倍の7万3652件に、寄附額は約2.3倍の15億6150万円となりました。

なお、返礼品に要した経費は6億1760万円、寄附サイトへの掲載などにかかる経費は1億4390万円でした。



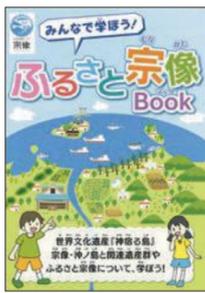
返礼品パンフレット

歳出

世界遺産登録関連事業

世界遺産登録にあたり、多くの部署でさまざまな事業が行われたことが報告されました。

・都市戦略室では、報道機関への情報提供を積極的に実施
・経営企画部では、世界遺産条例を制定、構成資産内外の経過観察(モニタリング)、世界遺産保存活用検討委員会の立ち上げ、来訪者受け入れのための大型バス駐車場整備や誘導サイン整備



ふるさと学習の副読本

全国豊かな海づくり大会関連事業

都市建設部では、歴史的風致維持向上計画を策定
教育子ども部では、世界遺産学習を核としたふるさと学習の副読本を作成



29年10月に全国豊かな海づくり大会が本市で開催されました。当日は、ユリックスでの式典行事は行われませんが、台風の影響で、放流行事などは中止となりました。大会の開催にあたり、宗像の歴史や文化、環境保全の取り組みだけでなく、本市の豊かな海産物や農産物を全国に向けてPRしたことが報告されました。

全員賛成 平成30年度一般会計補正予算(第2号)可決

歳入歳出それぞれ13億5207万円を増額し、総額を365億2172万円とする歳入歳出予算の補正や、公園維持管理費の繰越明許費などの補正予算案が提出されました。

補正予算の主な内容は、ことし7月の豪雨による災害復旧事業費の増額、防災対策事業費の増額、企業立地促進基金積立金の増額などです。

主な質疑

問 公園維持管理費の釣川桜つつみ公園内の神興橋改修工事について、工事の期間はいつか。
答 11月から来年5月までを工期と考えている。

問 神興橋は通学路なので、仮設の橋をかけるべきではないか。
答 仮設の橋は費用がかかるため、通行止め期間を最小限にするようスケジュールを考えた。



御手水池(堤体)の被災状況

災害関連の補正予算が多く計上されました

ことし7月の豪雨災害で、市内各所に被害が出ました。そのため今回の補正予算では、御手水池の機能改善に必要な経費や市内のため池20カ所の調査委託料、防災服、災害用作業服、被災地確認用ドローンの購入に係る費用など、災害復旧事業費や防災対策事業費などが増額されました。

また、一般質問でも多くの議員が災害に関連した質問を行いました。

新たな保健事業の補正予算が計上されました

国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の補正予算では、被保険者の生活習慣改善や健康増進を目的とした二つの保健事業を開始するための費用が計上されました。

◆在宅歯科訪問事業

移動に介護を要し、単独で歯科健診を受診することが困難な在宅者を歯科医や歯科衛生士が訪問して、口腔内のチェックや清掃指導などを行います。

◆運動施設利用料金助成事業

特定健診、基本健診の受診者に、宗像ユリックス・アクアドームなどの市内5カ所の運動施設利用券を交付し、健診受診率の向上を目指します。

平成30年9月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成30年9月4日から9月7日の4日間にわたって、17人の議員が合計39項目の質問を行いました。

- 質問を行った順に掲載しています。
- 掲載項目などは質問を行った議員が選択しています。
- 質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



**ナイトタイムエコノミー(※1)について
とびうおクラブ/安部 芳英**

問 宿泊施設と市内事業所との連携について、バス、タクシー割引制度などの検討ができませんか。

答 宿泊事業者、交通事業者、飲食事業者で連携してできる方策も考えられるので、積極的な支援や調整は行っていく。

問 一定数以上の宿泊客が見込まれる全国大会などを市内で開催する場合、交通手段の確保や宿泊費の補助などの支援制度を市内で連携して検討できないか。

答 現在の補助制度の整理や改正を視野に入れて検討を進めていきたい。



問 宗像大社の秋季大祭がある10月1日から3日までを「宗像市世界遺産の日」として条例を制定し、観光振興や歴史文化を大切にする市民意識の醸成、市内の消費喚起につなげていくような検討はできないか。

答 各部局などと検討を行っていく。



**災害対策の見直しを
公明党/岡本 陽子**

問 近年、想定外の災害が続いている。本市における今後の課題は。

答 ①市民に対する安全確保につながる情報収集、伝達②危険区域の把握などを含めた広報、啓発③避難所の運営、管理④避難行動要支援者への避難支援が考えられる。

問 7月の豪雨で洪水時の指定避難所となつていく場所が使用できないという状況があった。避難所の見直しと今後の対応は。

答 河川を越えて避難をするような避難所の開設はやめていく考えで、避難所の再決定をしていく。



問 今夏は想定外の猛暑となり市内小中学校のエアコン設置と、運用開始までの猛暑、極寒への対応は。

答 来年2学期から使用できるように準備をしている。設置までの猛暑対応へは夏休み期間の見直しの検討や水分補給などの指導を行う。



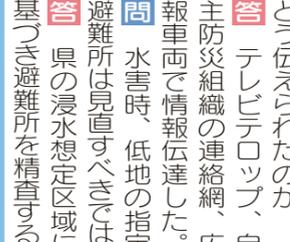
**海のプラスチックごみ対策を
ふくおか市民政治ネットワーク/笠井 香奈枝**

問 プラスチックリサイクル率向上の取り組みは。

答 資源物受け入れ体制の充実と、ごみの分別やリサイクルの必要性について周知徹底を図る。

問 プラスチックごみを減らす取り組みは。

答 マイバックや水筒の利用により使い捨てプラスチックを減らす取り組みみや、マイクロプラス



問 チックによる環境問題などについて情報発信する。

問 市内スーパーにレジ袋有料化を働きかけては。

答 有料化がごみ減少につながることをPRする。

災害時スムーズに避難行動ができる対策を

問 情報媒体を持たない市民への大雨避難情報はどう伝えられたのか。

答 テレビトップ、自主防災組織の連絡網、広報車などで情報伝達した。

問 水害時、低地の指定避難所は見直すべきでは。

答 県の浸水想定区域に基づき避難所を精査する。

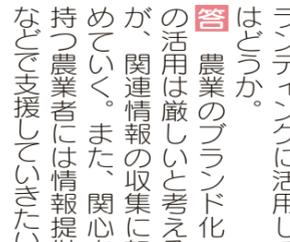


**東郷停車場線の活性化を
宗像志政クラブ/吉田 剛**

問 駅前通りである東郷停車場線沿線の町並み形成や、景観・まちづくりの考えは。

答 地元商業者団体が一体となった、地域の活性化やにぎわいづくりに向けた取り組みの意向があれば地元と連携したい。

問 東郷駅前ににぎわいづくりなどを目的にジャズをテーマにしたイベントが企画されている。支援の考えは。



問 持続可能な社会に向けた国際的な潮流の中でGAP(※2) 認証とオーガニックを本市農業のブランドに活用してはどうか。

答 農業のブランド化への活用は厳しいと考えるが、関連情報の収集に努めていく。また、関心を持つ農業者には情報提供などで支援していきたい。

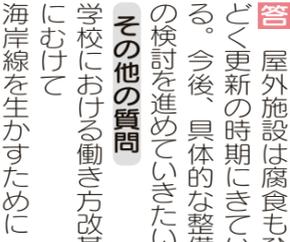


**スポーツ推進計画の進捗は
とびうおクラブ/北崎 正則**

問 推進上の課題は。現行の計画は中間の見直し時期であり取り組みの中で効率面などの課題が見えてきた。

問 スポーツサポートセンターの現状は。

答 多目的室を増設しヨガ教室などの講座や特定健診受診者への健康プログラム提供などを行っている。



問 体育協会や団体からの要望などへの対応は。

答 年1回の意見交換会で要望や支援内容の協議を実施。施設の修繕要望などは現状確認、聞き取りを行い緊急性の高いものから対応している。

問 市営球場を含めた中央公園の屋外施設の改修を進めるべきではないか。

答 屋外施設は腐食もひどく更新の時期にきている。今後、具体的な整備の検討を進めていきたい。

その他の質問

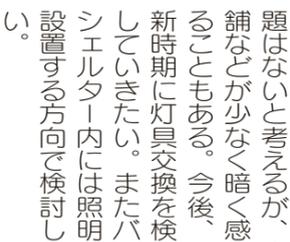
学校における働き方改革にむけて
海岸線を生かすために



**洪水から市民を守る遊水地を
日本共産党/植木 隆信**

問 7月の豪雨では本市でも浸水被害が発生したが、干潮時と重なり大きな被害を免れた。洪水を防ぐ遊水地の確保は緊急課題と考えるがどうか。

答 平成23年に県が策定した約川水系河川整備基本方針では、洪水調整施設をつくる方針である。県もいくつかの候補地を検討しており、今後県もいくつかの候補地を検討している。



夜のJR赤間駅を明るく

問 宗像市の表玄関とも言える赤間駅北口の街灯が暗いため明るい照明にできないか。またバスシエルトに夜間照明の必要があると考えるが。

答 北口の照明自体に問題はないと考えるが、店舗などが少なく暗く感じることもある。今後、更新時期に灯具交換を検討していきたい。またバスシエルト内には照明を設置する方向で検討している。



**業務委託の実態と効果について
日本維新の会/岩岡 良**

問 本市の競争入札に参加する条件として、業者登録が必須であるため、事業実績が無い業者は登録できない現状がある。このため申請者が市内の企業であっても事業へ参入できない状況が生じており、これは新規事業者・地場産業の育成をつたっている本市の産業振興施策と大きく矛盾している。より門戸を開放した参入規定への改正を求める。

答 契約履行の確実性や品質管理などの担保は必要と考えるが、企業の育成、新規事業などを推進



問 業務委託の費用対効果を再検証するシステムが必要と考えるがどうか。

答 実施計画や事務事業評価の中で検証体制を強化したい。また行単アックションプランの見直しの中で業務委託のあり方などについて考えたい。



**多子世帯の支援策について
宗像志政クラブ/伊達 正信**

問 多子世帯を対象とした公共施設使用料の減免制度の創設ができませんか。

答 現在、減免措置の議論は無いが、検討対象に加え幅広く検討したい。

問 多子世帯を応援する施策については。

答 庁内検討を進め、取り組みを強化していく。



大災害時の備えJ-UN

問 大災害時における確証証明書発行については、被災した各地で対応の遅れが指摘されている。協定を結んでいる建築組合などへの委任を考

(※1) ナイトタイムエコノミー：日没から翌朝までに行われる経済活動の総称。
(※2) GAP (Good Agricultural Practice)：農業生産工程管理。農業において食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。



学校施設の総量圧縮について

公明党／石松 和敏

問 推計では児童数は17年後に30%減少。学校施設が現状のままであれば30%が余剰施設になる。国はクラス替えができるよう適正な集団規模が必要としており、集団の中で多様な考え方に触れて切磋琢磨(せつさくたくま)すること社会性や規範意識が身につくと考える。学校規模の適正化は子ども目線で検討すべきでは。また1学校1プールの原則ではなく、民間施設、近隣校との共用も検討すべきでは。

答 適正規模は本当に大切なことである。一つの



学級で6年間過ごすこととして子ども同士が固定的に見てしまったため複数の学級があり定期的にクラス替えを行うことは大事である。またプールについては、ことしの酷暑で特に屋外プールの授業のあり方も問題にされている。本日の意見も含めて今後検討したい。



大島の今後の整備計画は

宗像志政クラブ／神谷 建一



御嶽山展望所

問 観光客増につなげる今後の計画と支援策は。

答 御嶽山展望所を改修し観光スポットとしてPRする。また、にぎわい創出のため新規出店補助制度を拡充する。

問 大島への移住者に対する家賃補助や雇用支援の考えは。

答 離島振興施策強化のため、現在の家賃補助制

度の見直しや新制度の創設などの検討が必要。また、新たな雇用を生むため企業誘致によるテレワークやシェアオフィスサービスも検討中。

問 大島牧場がある瀬山地区は観光名所であるが、今後の整備計画は。

答 景観を生かし牧場に限りず新たな活用の可能性を検討する必要がある。

問 クラシックカーによるラリーイベントの開催を誘致活動できないか。

答 誘致活動については、他開催地の情報を収集し積極的に検討したい。



大雨に対する災害対応について

宗像志政クラブ／森田 卓也



問 7月の大雨での課題と今後の取り組みは。

答 対策本部に同じ情報も何度も連絡されてきたこと、マニュアルどおりに業務分担できなかったこと、開設した避難所の問題などがあつた。現在、災害対応体制や避難所開設の見直しを行っている。

問 河東地区の避難所が変更になった理由は。

答 避難者に少しでも良い環境を、との思いからコミセンを中心に開設したが、周辺道路の冠水や避難者の増加に伴い河東小、そして市民体育館に

変更した。今回の経験から避難所を移動しなくて良いよう当初の開設避難所について再検討を行う。

問 河東校区の地域特性から河東西小を避難所として活用してはどうか。

答 河東、福岡、ひかりヶ丘、樟陽台などに住む方については、河東西小を避難所の候補として考えている。



命と健康を守る空調設置を急げ

日本共産党／新留 久味子



森林都市金田眼科前バス停

本市では、市立学校普通教室に空調設備を整備し、平成32年度から稼働する計画である。

問 普通教室と学童保育施設は空調設備を前倒しで設置し、来年度1学期から稼働できないか。

答 今年の酷暑を助案し、計画を短縮して、学校施設は来年度2学期、学童保育プレイルームは来

年度夏の稼働に向け、できるだけ早く設置したい。バス停のシェルター整備の検討を

問 自由ヶ丘地区森林都市金田眼科前バス停は台風被害で撤去したシェルター再整備の要望がある。再度設置できないか。

答 西鉄バスのバス停であり西鉄バスに設置を要

望するが、困難であれば当該シェルターの設置者は市であったと考えられるため市で整備する。

その他の質問 実効性ある開発行為に関する条例へ



世界遺産から始まる新たな挑戦へ

宗像志政クラブ／小林 栄二



観光ボランティアによる来訪者への案内(宗像大社)

問 宗像大社周辺の歴史遺産の活用方法について。

答 歴史的価値を伝えるために、観光ボランティアの養成に努め、来訪者対応などを行っている。

問 鐘崎漁港の産業と観光の活性化計画は。

答 漁村の魅力を生かし、6次産業化による商品販売や飲食の提供、体験メニューなどの充実

により、鐘崎漁港へ観光客の誘導を図りたい。

漁業施策の将来展望は

問 漁獲量の減少・魚価低迷の対策については。

答 安定した漁業経営を維持するため養殖漁業への支援。また水産物のブランド化や販売促進、加工品の開発など取り組みを強化していきたい。

問 老朽化した漁港施設の維持管理と大規模災害への対策については。

答 鐘崎漁港の機能保全工事は31年度から着工予定。施設は定期的に点検し長寿命化を図る。



豪雨災害への今後の対策について

宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 7月豪雨は、特別警報や一部地域に避難勧告が出され、かつてない事態となった。今後の対策として豪雨を当たり前とする水害対策計画と、遊水地の有効性については。

答 現在、県は山田川の改修、市は市宮河川や雨水幹線整備をしており、今後は、水路の土砂のしゅんせつや構造物の維

持補修に努める。遊水地は河川の水を一時的に貯留し、水位を下げる機能が、有効性と効果は認識している。河川管理者の県に要望していく。

更生保護サポートセンター支援を

問 市民の安心と安全を守る任務を担う保護司の活動拠点であるサポートセンターへの支援策は。

答 国の支援だけでは運営が困難であり、活動場所に対する一部経費などを助成できたらと考えている。職員の人材育成と確保を



スポーツのちからをどう生かすか

市民自治の会／上野 崇之



視察に訪れた鈴木俊一五輪担当大臣(当時)

問 オリンピックのホストタウンや宗像サニックスブルースの本拠地という点を生かす取り組みは。

答 ホストタウンでは今夏はブルガリア柔道代表が吉武地区や日の里まつりで市民交流を行った。サニックスブルースはスポーツ指導や地域伝統文化行事への参加、国レベルの競技団体とのネット

ワーク強化など本市のスポーツ施策に多大な貢献をいただいている。地域や民間企業からも提案があればいろいろな取り組みができる。と考える。

「広域連携型観光事業の検討は

問 世界遺産登録後の観光事業の、客層別戦略と連携体制の検討状況は。

答 市の知名度向上により、大手旅行代理店と圏域を広げた旅行商品化、情報発信を行っている。旅行商品の相互補完のためには、九州北部の自治体との連携も必要である。



民間の災害復旧資金の貸付制度を

日本共産党／末吉 孝

問 民間関係の災害に対して、どのような災害復旧の制度があるのか。

答 災害援護資金の貸付制度や、県の被災者再建支援制度などがある。

問 市民の相談窓口の一

本化と災害復旧資金の貸付制度を拡充すべきでは。

答 市民にわかりやすい形の窓口を模索していきたい。

問 産休・育休明けの職場復帰を支える制度は。

答 面談・相談と、学習・業務の二つの側面から支

援を行っている。職場復帰後も職員が安心して働けるよう取り組んでいく。

問 メンター制度とは。

答 育児経験のある先輩職員を助言者(メンター)として、仕事と家庭の両立や悩みなどを公私にわたり相談支援を行うもの。



防災を共助の心で

宗像志政クラブ／井上 正文



問 福岡教育大、日赤看護大と災害時における連携を強化すべきでは。

答 福祉大女子寮の学生と自主防災組織との組織化や防災活動などについて協議している。また日赤看護大の専門性を生かした連携についても現在大学と協議を進めている。

問 赤間小学童保育所は土砂災害警戒区域にあたる。建て替え時期が近づいているが、今後の改善の見通しは。

答 土砂災害警戒区域をいかに外していくかとい

うことを最優先の課題とし、プレハブの建て替えも合わせて地元と協議を進めている。

大島のネット環境整備を

問 大島のネット環境の整備について今後の実現に向けた見通しは。

答 大島の活性化と今後の振興のために必要であれば、島民の声を聞きつつ、引き続き前向きに検討していきたい。



提出議案と議決結果

9月定例会で審議した議案のうち、賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with columns for '議案名' (Proposal Name) and '議員名' (Member Name) with '議決結果' (Decision Result) for each member. Proposals include budget approvals for various departments and a resolution on national constitutional discussions.

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

4件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書

【賛成多数で可決】



日本国憲法は、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三原則の下、国の発展に重要な役割を果たしており、今後も堅持されなければならないが、現憲法は70年余り改定されており、その内容は国会や主権者である国民が幅広く議論した結果が反映されるべきであり、国会での活発で広範な議論を推進するとともに、国民的議論を喚起することを強く求める。

地方財政の充実・強化を求める意見書

【全員賛成で可決】

2019年度の政府予算と地方財政について、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すため、次の実現を求める。
1 少子高齢化や災害への対策など増大する地方自治体の財政需要の確かな把握と財源の確保。
2 子育て支援や医療、介護の見直しなど急増する社会保障ニーズへの対応と人材確保のための社会保障予算の確保および地方財政措置。
3 公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業など補助事業の対象拡大と十分な予算確保。
4 「まち・ひと・しごと創生事業費」の現行水準の確保。
5 自治体基金の残高を理由とした交付税削減などを行わないこと。



学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

【全員賛成で可決】

大阪北部地震では学校のブロック塀倒壊で児童が死亡。国は学校施設における塀の緊急点検を実施したが、通学路のブロック塀も引き続き点検と安全対策が必要であり次の対応を求める。被災地における通学路のブロック塀の緊急点検と危険箇所への安全措置。



児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

【全員賛成で可決】

東京都目黒区で虐待による女児死亡事件が発生。近年児童虐待の相談件数は増加している。子どもの異変に早期に気づき、虐待の芽を摘むため児童虐待防止対策強化に向け次への取り組みを求める。
1 市町村の体制強化や中核市・特別区の児童相談所設置を含む児童虐待防止体制強化のための新プラン策定と財源措置。
2 児童相談所と市町村、民間団体などの連携強化を加速する児童相談体制改革の実施。
3 児童相談所・市町村警察間の適切で迅速な情報共有のための



【後列左から】上野委員、小林委員、笠井委員、井浦委員 【前列左から】森田部会長、岩岡副部会長

編集後記
これまでの2年間、少しでも市民の皆さまに分かりやすく、そしてより宗像の議会活動に関心を抱いていただけたよう森田部会長とともに、1期目の議員を中心に議会だよりの編集にあたってまいりました。不十分な点もあつたかと思いますが、今後さらなる改善の道を模索してまいります。
議会広報編集部会 副部会長 岩岡 良

12月定例会の日程

【予定】

Table with columns for '日程' (Schedule) and '内容' (Content). Dates range from 12/3 to 21, including sessions for committee reports and council decisions.

統一基準財務書類報告書について

宗像市の普通会計における29年度末時点での財産状況は、純資産が約1,023億7,000万円であること、流動資産が流動負債を上回っており、安定した財政運営が行われていることが報告されました。

用語の説明
純資産 資産形成のために過去の世代や国・県が負担した将来返済する必要がない財産の蓄積
流動資産 一年以内に現金化される資産
流動負債 一年以内に支払期限が到来する負債

市議会のくわしい情報や議会議中継はホームページをご覧ください。宗像市議会 検索
お問い合わせは 議会事務局へ TEL0940(36)1119

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
請願の提出締切日は11月26日(月)です。
予算第1特別委員会(議案上程、提案理由の説明)
一般会計を、予算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。
▼本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。